



森田 充議員
市民産業建設常任委員会

Q プロシードアリーナHIKONE
オープンへの彦根市の意気込みは

A まちなか交流の拠点として多くの方に満足いただける施設を目指す



その他の質問

- ・ごみ袋の無料配布を検討してみては
- ・「人事部」に求めることは
- ・職場でのコミュニケーション頻度を上げてみては

Q プロシードアリーナオープンに向けて彦根市の意気込みは。

A 大規模大会、プロスポーツ、合宿誘致等によりスポーツツーリズムを推進しにぎわいを創出する「まちなか交流の拠点」として、多くの方に満足いただける施設となるよう、本市と指定管理者が一丸となって取り組んでいく。

Q 駐車場、アリーナ外構の整備状況は。

A 当初の計画通り、令和4年度末に完成予定。

Q JR南彦根駅エスカレーターの整備状況は。

A プロシードアリーナのオープンに伴い、その重要性は増している。まずは財源を確保するため、国庫補助事業の対象となるようJR南彦根駅周辺地域の都市再生整備計画に位置付けていくことが必要と考えており来年度中にエスカレーター整備に向けた基本的な調査を実施したい。



▲オープニングイベントが盛大に開催されました



上杉 正敏議員
福祉病院教育常任委員会

Q 外部有識者によるヒアリングで事務
事業見直しの方向性はできたか

A 外部有識者ヒアリングの助言を受け見直しを進めていく



その他の質問

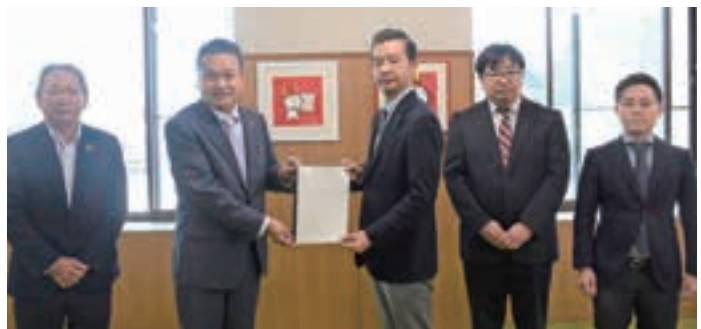
- ・公用車による事故削減について

Q 市税収入以外の歳入確保で特に力を入れようとする項目は。

A 特に力を入れようとする項目は、ふるさと納税と企業版ふるさと納税の活用。ふるさと納税は年々増えており、ネット広告の拡大によるPRの強化を進めている。企業版ふるさと納税も、全国的に寄附実績が年々増加していることから、彦根市を選び、ご支援いただけるよう取り組んでいく。

Q 外部有識者のヒアリングを受け見直しの方向性はできたのか。

A 全ての部局で、約700以上もの全事業について、事務事業の見直しの指針に基づき、方向性を検討した。また、それらのうち9所属9事業について、外部有識者のヒアリングを実施し助言を受けた。今後、この方向性や有識者の助言を踏まえ、見直しを進めていく。



▲有識者のアドバイスによる事務事業見直し



辻 真理子議員
市民産業建設常任委員会

Q 新制度「産後パパ育休」が追加された理由は

A 育児の入口となる出生直後の休業取得は男性の育児休業を促進する



その他の質問

・保育施設における「使用済み紙おむつ」の処理方法は

Q 新制度「産後パパ育休」が追加された理由は。

A 育児の入り口となる子の出生直後の休業取得という、柔軟で取得しやすい枠組みを設けることで男性の育児休業を促進し、取得を望む男性の仕事と家庭の両立を叶えるため。

また、男性が子の出生直後に休業を取得することはその後の育児や家事分担につながり、女性の雇用継続や夫婦が希望する数の子を持つことに期待できる。

Q 彦根市役所の父親の育児休業の取得状況は。

A 令和元年度が、新たに育児休業が取得可能となった職員数49人に対して取得者は9人で取得率は18.4%、令和2年度が36人中11人で30.6%、令和3年度が36人中19人で52.8%となっており、取得率は上昇傾向にある。



▲「産後パパ育休」の普及を期待して

委員会による先進地視察を実施



市議会では、議案などを専門的、能率的に審査するため、企画総務消防常任委員会、福祉病院教育常任委員会、市民産業建設常任委員会の3つの常任委員会を設けており、議員全員がいずれかの委員会の委員に選任されています。

各委員会では、効果的な審査が実施できるよう、それぞれに視察項目を定め、先進的に取り組んでいる他の自治体を訪問し、調査研究を行っています。

今後も、市政の発展と向上のため、調査研究に努め、活発な議論を行ってまいります。

企画総務消防常任委員会

**1 10月25日(火)茨城県ひたちなか市
「国民体育大会主会場都市としての役割や対応」**

陸上競技等、4競技8種目の開催地であったひたちなか市には、計10万5千人以上の来場者があり、1,095人の市民ボランティアが役割分担し多岐にわたって活躍されたとのことでした。主会場開催都市である本市は、開閉会式への関わり度合いや競技会場の運営等にかかる事前準備が課題であり、早い段階から、県をはじめ中央の競技団体等との情報共有や協議の場を設ける必要があるとの認識を得たところです。



2 10月26日(水)神奈川県横浜市「横浜市民防災センター」



昭和58年に市内唯一の防災教育施設および特別消防隊の庁舎として開設され、平成28年度には自助・共助を推進する中核施設として全面リニューアルされた当該施設では、水災害体験装置等による様々な災害時の体験ができました。いつどこで誰が遭遇するかわからない災害時に、皆が冷静に対処することが必要であり、このような施設で実際に体感しておくことで減災することは可能であると感じたところです。

3 10月27日(木)静岡県御殿場市「ふるさと納税自動販売機設置」

ふるさと納税自動販売機はゴルフ場利用者からの要望で検討を開始され、現在は3つのゴルフ場と御殿場プレミアム・アウトレットに設置されています。実績はふるさと納税額全体から見れば少額ですが、順調に実績を上げておられました。これは富士山のステータスと首都圏から近いという地の利があつてのことですが、本市の返礼品も遜色はないため、世界遺産等を通じて本市の認知度を高めれば伸びしろは十分にあり、本市のふるさと納税の情報を多くの方に届け、そして、リピーターを増やしていく取組が大事だと感じました。

